

# Dr.浅岡の 本当にわかる漢方薬

## 目 次

はじめに .....	3
ことわり .....	5

### 第1章 漢方薬を理解するための基本事項

<b>1 漢方薬の起源から現在まで .....</b>	12
❶生い立ち／❷薬としての成長／❸わが国への輸入／❹明治以前、以後	
<b>2 漢方薬の構造 .....</b>	16
❶漢方薬は生薬の複合剤／❷漢方薬は生薬を用いた約束处方／❸複合するということ／❹複合する理由	
<b>3 漢方薬の多様性と理解の仕方 .....</b>	21
❶トッピングによるバリエーションの拡大／❷漢方薬の理解の仕方	
<b>4 生薬の理解の仕方 .....</b>	25
❶生薬には必ず自覚症状を改善する働きがある／❷薬性／❸守備範囲／ ❹薬能、薬性、守備範囲の組み合わせ／❺生薬はすでに混合物／❻生薬のevidence ◆帰納法と演繹法 .....	30

### 第2章 東洋医学の尺度

<b>1 診断 .....</b>	34
❶漢方薬の適応は西洋医学の病名では表現できない／❷東洋医学の診断／❸状態を表現する用語は日常用語／❹状態を表現する用語の基本／ ❺状態を表現する用語の組み合わせ	

<b>2 治療</b>	41
<b>1</b> なぜ状態を表現しなければならないか／ <b>2</b> 状態で治療を行う利点／ <b>3</b> 東洋医学の治療概念／ <b>4</b> 状態が診断にあたるということ／ <b>5</b> 適応病名の謎	
<b>3 東洋医学に特有の概念</b>	47
<b>1</b> 気という概念とその異常／ <b>2</b> 血という概念とその異常／ <b>3</b> 水という概念とその異常	

## 第3章 診療の手順

<b>1 診察</b>	56
<b>1</b> 診察のとらえかた／ <b>2</b> 診察の方法と種類／ <b>3</b> 診察の順番／ <b>4</b> 所見採択の優先順位	
<b>2 診察と薬剤との関係</b>	60
<b>1</b> 約束処方を選ぶ工程／ <b>2</b> 舌診／ <b>3</b> 脈診／ <b>4</b> 診察の手順	

## 第4章 主要な生薬と処方

<b>1 甘草</b>	70
<b>2 桂枝</b>	74
<b>3 麻黄</b>	79
<b>4 附子</b>	91
◆ かぜの考え方	94
<b>5 細辛</b>	98
<b>6 茯苓, 蒼朮(白朮), 沢瀉, 猪苓</b>	101
<b>7 半夏</b>	109
<b>8 柴胡</b>	114
<b>9 黃連と黃芩</b>	122

<b>10</b>	<b>人参</b>	129
<b>11</b>	<b>桃仁と牡丹皮</b>	134
<b>12</b>	<b>当帰と川芎</b>	138
<b>13</b>	<b>地黄</b>	144
<b>14</b>	<b>大黄と芒硝</b>	148
<b>15</b>	<b>石膏</b>	153

## 第5章 グループをなす処方群

<b>1</b>	<b>建中湯類</b>	156
<b>2</b>	<b>補気剤</b>	161
<b>3</b>	<b>補血剤</b>	168
<b>4</b>	<b>補腎剤</b>	173
◆	東洋医学と現代科学の関係	178

## 付 錄

<b>付録1</b>	<b>保険収載処方一覧（本編掲載分を除く）</b>	180
<b>付録2</b>	<b>主な生薬の薬性と守備範囲</b>	187
■	<b>処方名・生薬名・解説事項 索引</b>	188
■	<b>適応・主治・症例 索引</b>	193
おわりに		196

## 症例へのアプローチ

● 筋肉のつり	71
● 花粉症対応のいろいろ	84
● 感染症における 診断と治療の関係	85
● 特発性浮腫	87
● 麻黄+石膏の組み合わせ	88
● 麻黄+薏苡仁の組み合わせ	89
● 裏寒の治療	90
● 下痢のいろいろ	92
● 四肢の痛み	92
● 鼻水	99
● めまい	102
● 全身倦怠感	104
● 口の乾き	108
● 食道神経症	111
● 感染性胃腸炎	112
● インフルエンザ後の不調	116
● 精神的な要因がもたらす 往来寒熱	117
● 気鬱による腹部膨満感	118
● かぜ	119
● 心臓神経症	121
● 感染性胃腸炎	125
● ストレスと手足煩熱	125
● 脱水	131
● 便秘	132
● 発作的な頭痛	133
● 大腸憩室炎	136
● 月経痛	143
● 皮膚疾患	146
● 便秘	151
● 過敏性腸症候群	157
● 脾虚の原因	163
● 感染症後の食欲不振	164
● 暑気あたり	164
● 脾虚の1つ～泥状便	165
● 癌に補剤を用いる根拠	170
● 呼吸器症状に用いる生薬	171
● 補血と清熱	172
● 高齢者に多い手足のほてり	176
● 下肢のしびれに牛車腎氣丸？	176

## 臨床のヒント

● 漢方薬の剤型	32
● 陰陽	38
● 表裏寒熱は主に感染症を扱う際に 用いられる尺度	40
● 証は変化する	43
● 気と寒熱	49
● 血の概念	51
● 冷えの原因には4つある	53
● 腹診について	64
● 生薬を味で分類する方法	72
● 構成生薬の数	83
● 約束処方の使い方	83
● 附子を選択する際の決まりごと	93
● 熱薬の守備範囲	100
● 利水の四品	107
● 生姜と乾姜の違い	112
● 処方全体の方向性を左右する 半夏	113
● 裏熱はどうやって確認するのか	122
● 気鬱はなぜ裏熱をもたらすのか	123
● 手足のほてり	124
● 気の異常への対応方法	128
● 気の不足は消化吸収機能の 低下によってもたらされる	130

- 全身倦怠感はいつも気虚と診断できるか? ..... 132
- 桃仁、牡丹皮は血流改善剤? ..... 137
- 不定愁訴とは ..... 139
- 散薬は香りが大切 ..... 142
- 下腹部痛を主治する生薬には2通りある ..... 142
- 漢方薬は長く飲まないと効かない? ..... 143
- 大黄と芒硝が配合されるとなぜ承気湯と呼ばれるのか ..... 149
- 漠然とした気鬱 ..... 150
- 気の異常は日常生活に原因あり ..... 152
- 処方名に付けられた大小の意味 ..... 158
- 桂枝湯の構成生薬がもつ特性 ..... 159
- 五臓の中心に脾あり ..... 166
- 腎虚は syndrome ..... 177

## ◆ 常套的組み合わせ ◆

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| ① 桂枝 + 茯苓 ..... 78       | ④ 柴胡 + 黄芩 ..... 116 |
| ② 生姜 + 大棗 + 甘草 ..... 81  | ⑤ 黃連 + 黄芩 ..... 128 |
| ③ 半夏 + 生姜 (乾姜) ..... 110 | ⑥ 人參 + 黄耆 ..... 167 |



## ◆ 生薬よもやま話 ◆

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| ● 多種多様なカレーは主婦の手で ..... 20 | ● 家 紋 ..... 105    |
| ● 処方の名前と構成する生薬の数 ..... 24 | ● 黄 柏 ..... 127    |
| ● 生薬の分類 上中下 ..... 29      | ● 人 參 ..... 129    |
| ● 甘草の歴史 ..... 73          | ● 紅 花 ..... 137    |
| ● 小青竜湯の名の由来 ..... 82      | ● 修 治 ..... 147    |
| ● 茯苓は茯靈 ..... 103         | ● 仁のつく生薬 ..... 152 |
| ● 蒼朮と白朮 ..... 104         | ● 君 子 ..... 162    |



## ◆ Column ◆

- |                                |                                     |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| ● 中庸の意味 ..... 44               | ● 東洋医学と西洋医学の診断の<br>ずれが生むもの ..... 64 |
| ● 病名と保険診療 ..... 46             | ● 自然は優しい? ..... 67                  |
| ● 古代人がイメージした「気」 ..... 49       | ● 心とお腹 ..... 160                    |
| ● 滞り ..... 51                  | ● 五臓について ..... 167                  |
| ● 東洋医学の尺度の多様さ ..... 54         | ● バイオミクリー ..... 177                 |
| ● 漢方治療は<br>オーダーメイド治療? ..... 59 |                                     |

